

RPPC メールマガジン 第 715 号

リサイクルポート推進協議会（平成 30 年 2 月 28 日発行）

■先週・今週の報道発表

1. 第 5 回ブルーカーボン研究会が開催されます【国土交通省 平成 30 年 2 月 26 日】
2. 第 2 回平成 29 年度災害廃棄物対策推進検討会の開催について【環境省 平成 30 年 2 月 27 日】

■RPPC 事務局からのお知らせ

第 3 回リサイクルポート施策の高度化研究会開催のご案内【再掲】

■リサイクルポートに関する最新の情報

1. 国土交通省港湾局、港湾堤外地の高潮リスク低減方策指針案
2. 水島港の国際バルク戦略港湾、30 年度が整備等のピークに
3. 広島港の海田岸壁の改良で強度補強等工事
4. 長崎港活性化センター、東京でポートセミナー開催

=====

◇先週・今週の報道発表

1. 第 5 回ブルーカーボン研究会が開催されます。
～ブルーカーボン生態系の活用による CO2 吸収量見込みの試算結果について～

http://www.mlit.go.jp/report/press/port06_hh_000149.html

【港湾局 H/P】

2. 第 2 回平成 29 年度災害廃棄物対策推進検討会の開催について

<http://www.env.go.jp/press/105179.html>

【環境省 H/P】

=====

◇RPPC 事務局からのお知らせ

第 3 回リサイクルポート施策の高度化研究会を開催いたします。【再掲】

日時：平成30年3月6日（火）17:00～19:00（17:30～の変更の可能性があります）

会場：フクラシア丸の内オアゾ Hall B（丸の内北口ビルディング 16階）

なお、研究会資料は各部会・PT開催時に配布を予定しています。

=====

◇リサイクルポートに関連する最新の情報

1. 国土交通省港湾局、港湾堤外地の高潮リスク低減方策指針案

国土交通省港湾局は2月22日、「第4回港湾の堤外地等における高潮リスク低減方策検討委員会」を開催し、リスク低減方策ガイドラインの最終案について議論した。

ガイドライン案では堤外地の高潮災害対策として、事前にとるべき行動を港湾管理者や立地企業ごとに「フェーズ別高潮対応計画」としてとりまとめるべきとの方向性を示している他、特定エリア毎のハード・ソフト対策を示す「エリア減災計画」の策定の考え方をまとめたものとなっている。港湾局では年度内に策定・公表する予定。

2. 水島港の国際バルク戦略港湾、30年度が整備等のピークに

中国地方整備局宇野港湾事務所は、水島港玉島地区国際バルク戦略港湾の整備を促進している。29年度補正予算を充当して、壁本体工事の進捗を図ることにしており、岸壁本体で発注が残っている3スパン分の製作・築造工事のほか、渡橋の整備、岸壁PC床版製作、またベルトコンベア基礎工事などを順次進める。これら事業のうち、大型工事は30年度と31年度の翌債工事で行うが、岸壁本体整備に関わる予算的な裏付けができたことで、実質的な工事発注・施工は30年度がピークになる。31年度以降は前面泊地の浚渫などへと進む予定で、同岸壁の供用開始が視野に入ってきた。

3. 広島港の海田岸壁の改良で強度補強等工事

中国地方整備局広島港湾・空港整備事務所は、広島港海田地区コンテナターミナルの改良工事として現在、第3バース（KC-3）の2ブロック分（合計延長約70m）の上部打替え工事の手続きに入っている。第3バースは延長約120mで、約半分の60m区間については今年度工事として上部工を施工中で、今回工事はそれに続く残り半分。同区間の整備が終わると港湾管理者の広島県が同バースに新たなガントリークレーンを導入し、稼働している第1、第2バースを含めた3バース連続の水深7・5m総延長360mのコンテナバースが機能することになり、物流の効率化に繋がる。

4. 長崎港活性化センター、東京でポートセミナー開催

長崎港活性化センター（宮脇雅俊会長、長崎商工会議所会頭）、長崎県らの主催による「平成29年度長崎港ポートセミナー」が2月14日、都内の会場で開かれた。宮脇会長による主催者挨拶の後、特別講演として「最近の国際物流の動向に見る荷主企業と物流事業者のあり方について」のテーマで石原伸志東海大学海洋学部客員教授が講演した。また長崎県による長崎港の紹介、長崎港と釜山港を結ぶ定期航路を開設している高麗海運による航路紹介等が行われた。セミナー開催後には情報交換会も開かれ、運輸関係者や船社など多くが参加、主催者の長崎県の担当者が長崎港の利用を呼びかけ歓談した。

セミナー開催にあたって宮脇会長は、「長崎は我が国の最西端に位置し、中国、韓国など東アジアとは最も近いという優位性を持ち、東アジアに向けた貿易港として重要な役割を担っている。本日のセミナーを通じて、長崎港の貿易促進と関連産業の振興を図って参りたい」と挨拶した。

また、最近の国際物流の動向について講演した石原教授は、「CYカットタイムの現状と論点」について説明。東京港、横浜港を例に港湾渋滞の要因となっている取扱量、滞留貨物、オフ・ピーク、予約システムなどについての現状分析と対応策を提示した。

【港湾空港タイムス 18 年 02 月 26 日号から編集】

////////////////////////////////////

発行者：RPPC 広報部会

部会長代行：新谷 聡 りんかい日産建設（株）

部会員：青木 信裕 新日鐵住金（株）

山崎 和宣 五洋建設（株）

安藤 彰 東京都

ツネイシカムテックス（株）

齋藤 憲雄 山形県リサイクルポート情報センター

リサイクルポート推進協議会 事務局

一般財団法人みなと総合研究財団（内） 担当：本野、清水、安田

URL：www.rppc.jp E-mail：rppc_jimukyoku@wave.or.jp

////////////////////////////////////

■会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡下さい。

開催案内等の情報をメルマガで配信致します。

■メルマガ配信先に変更がある場合、事務局までご連絡下さい。

■メルマガに関するご意見、ご要望がありましたらご連絡下さい。